



↑ トロッコを使用している土砂の運搬



↑ 伝統的治水工法の一つ、「牛」といわれる水制

### 明治・大正・昭和期の 建設工事写真シリーズ

(写真提供) 株式会社永井組・大沼建設株式会社



↑ 当時の作業員と発動機



↑ 重たい物を吊り上げるにはチェンブロックを使用



↑ 掘った土を移動させるために使われた、ドラム缶を利用したデリック

### 表紙のことは

昭和30年頃の河川工事の写真です。若い人たちが見るとこれが日本ですか?と思うかも知れません。今のように大型の建設機械がなく、掘削は人力そして運搬はトロッコやデリックで施工していました。今のようにバックホウで掘ってダンプで運搬しクレーンを使っている現場では想像しがたい光景です。このような時代を超えて先人達の努力で、日本は今日の隆盛があることを我々は決して忘れてはいけないと改めて感じました。

掲載の方には  
2,000円分の  
図書カード進呈!

### つちおとの表紙写真を飾る写真大募集!

◆テーマ・題材◆ 静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。※ご応募いただく際お預かりする個人情報、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。